

キャラクター名
矧繕歌耶

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス パロール	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	主婦
オプション		年齢		性別	
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	41 %
出自	転生体	経験	煩悶	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		1
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術: 料理	5		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	5r+1				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
D: 転生者	P	N		
矧繕味噌月	P 純愛	N 不安		
生活	P 幸福感	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1		常	至近	自身	自動		
効果: 衝動D+LV、基本侵食+5								
解放の宴	1	6	セ	至近	自身	自動	100↑	
効果: シナリオLV回 ラウンド中+5D 飛行になる								
オリジン: ヒューマン	1	2	マ	至近	自身	自動		
効果: シーン間 達成値+LV								
拡散する影	3	3	マ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 制: 80 メイン攻撃判定D-精神以下任意、達成値+ (減らすD×LV「最大20」)								
オウガバトル	7	6	マ	至近	自身	自動	100↑	
効果: 制: 100 メインプロセス中攻撃ダメージ+ (LV+2)								
原初の赤: サイレンの魔女	2	6	メ	視界	シーン選	対決		
効果: 技: RC 攻撃LV×3 コンセントレイト組み合わせ不可								
マインドエンハンス	1	3	メ/リ					
効果: シナリオLV回 技: 精神社会 C値-1 (下限9)								
原初の黒: ダヴィンチの調和	1	1D10+3	オ	至近	自身	自動	100↑	
効果: 制: 100↑ シナリオLV回 C値-1 (下限6)								
背徳の理	3	3	オ	至近	自身	自動		
効果: とダメ1点時使用 シーン間ウロボロスエフェクト組み合わせD+ (LV×2)								
無面目	10	3	オ		自身	自動		
効果: オーヴァードであるか調べるような行為が行なわれた際に使用 知覚対決時達成値+LV								
禁じられし業	3	3	オ	視界	単	自動		
効果: シナリオ+LV回 イージエフェクト打ち消し								
闇夜の烏	1		メ	至近	自身	自動		
効果: 影に溶ける 知覚判定								
イージーフェイカー: 温度調節	1		メ	至近	自身	自動		
効果: 主に料理で使う 基本値+1 知覚								

幾度となく転生を繰り返し数百年生き続け世界の破滅を目論む魔女。
転生先が選べない事と転生時の人間の本質に激しく影響を受ける事、それに加えて度重なる転生で、もはや存在が曖昧になってきている。
このまま殺戮衝動が魔女としての残滓として残りやがてそれも消えるはずだったが
今回の転生ではどういわけか、初代に極めて近い形で転生を果たす事になった。

早速、世界を破滅させるために動くはずだったが世界があまりにも変わり過ぎていたため一度情報収集をする事にした。
だがその過程で歌耶という一般人として育つうちに、妙に所帯じみてしまい目的が揺らぎます。
気が付くと、夫ができてごく普通の主婦生活の毎日を送る、どうしてこうなったのか本人にもわからない。
当然ながら魔女としての素質があるためオーヴァードであり、力も初代に近い非常に強力。
ただ本人は面倒をさけるため、基本的には力を隠す傾向にある。